

第5号

ごみ減量トレンドイ

2014.6.1発行

ついに
販売開始!

生ごみ
処理の救世主!?

だっくす食ん太くんNEO

300
セット
限定

平成26年度のごみ処理状況

平成26年4月末現在
ごみ処理量3,403トン(前年比5.0%減)

生ごみを分解消滅 だっくす食ん太くんNEO

平成26年7月(予定)から販売開始！

300セット限定

ペットを飼う感覚で、楽しみながら家庭で生ごみ処理をしておくと開発された「だっくす食ん太くん NEO」

家庭での生ごみ処理に興味がある方は、ぜひお買い求めください。



※身長:35センチメートル
横幅:28センチメートル
奥行:40センチメートル
体重:4キログラムくらい

販売価格

980円(税込み)

販売場所

JA三島函南 農産物直営所「フレッシュ」	錦田店 谷田187-1 北上店 幸原町1-13-19 函南店 函南町仁田9-1
障がい者就労支援きょうどう隊「すてっぷ」	大宮町1-8-38 生涯学習センター内
三島街中カフェ (NPO法人グラウンドワーク三島)	芝本町6-6
NPO法人グラウンドワーク三島事務所	芝本町7-11
地産地消の店「ストラズ」 (NPO法人リベラヒューマンサポート)	本町9-3 シャリエ三島本町プレミアム1F
珈琲館 三島本町店 (NPO法人リベラヒューマンサポート)	本町3-29 三島本町タワーアネックス棟2F

説明会
出張販売

北上文化プラザ	平成26年7月1日(火) 10:00から
生涯学習センター	平成26年7月2日(水) 13:30から
中郷文化プラザ	平成26年7月3日(木) 10:00から
錦田公民館	平成26年7月4日(金) 10:00から

※参加申し込みは必要ありません。興味がある方はぜひ参加してください。

だっくす食ん太くんNEOってどんなもの？

燃えるごみの減量のため、生ごみの自家処理方法の一つとして開発されました。通気性の良い段ボールの中で、木材や竹チップなどに消化酵素を混ぜた基材と生ごみをよく混ぜることで、生ごみが消滅します。終了後は堆肥として使用できます。段ボール箱の設計から基材まで、すべて富士市の職員が試行錯誤して完成させたものです。EMぼかしと違って、畑など堆肥を使う場所がない人でも取り組めます。

だっくす食ん太くん NEO の特徴

1 丈夫で機能的でかわいいオリジナルダンボール箱

「だっくす食ん太くんNEO」は丈夫なダンボールを3重構造にしたり、底上げして通気性を高めたりしてあるので、少なくとも1年間は使用できます。また、ダンボール箱を犬に見立てたデザインで、ペット感覚で楽しく生ごみ処理に取り組めます。



箱の底上げ構造



3重構造で頑丈な箱の内部

2 分解能力が高いオリジナル母材

母材(ダンボール箱の中に入れる土状のもの)は、おがくずをベースに生ごみの分解能力が高い酵素を混ぜたものです。通常のピートモスなどを使った母材は3か月程度しか使えませんが、オリジナル母材は少なくとも1年間は使用できます。



おがくずベースの母材

3 虫の発生を防ぎ通気性を保つ オリジナルコンポストキャップ(防虫カバー)

厚手の不織布を使い、ぴったりサイズのオリジナルコンポストキャップで、通気性を保ちながら虫の侵入を防ぐことができます。



イラスト入りのコンポストキャップ

4 母材の扱いを楽にする オリジナル母材ネット

母材はダンボール箱にそのまま入れず、箱の大きさに合わせて作られたオリジナル母材ネットに入れます。

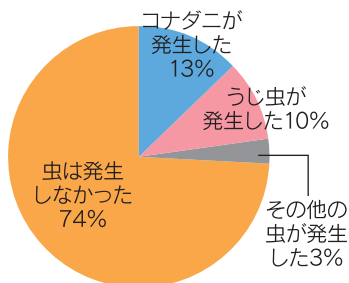


ネットを箱にかぶせてから母材を入れます

虫の発生やにおいはどうなの？

平成25年度に実施したモニター事業のアンケート結果です。

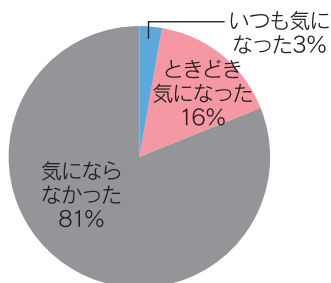
虫の発生はありましたか？



何らかの虫が発生したと回答した方は26%でした。

原因は「防虫剤を設置していない」、「長時間放置した生ごみを投入した」といった理由が考えられます。適正に管理すれば発生することはありません。

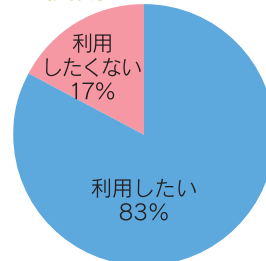
臭いが気になりましたか？



においが気になったと回答した方は19%でした。

においの発生原因は、生肉や生魚を投入したことや、よくかきまぜなかったことが理由として考えられます。ハーブ系の防虫剤を併用すると気にならないようです。

今後も継続して使用したいですか？



今後も継続して利用したいと答えた方は、83%でした。

ごみ袋の重さが非常に軽くなったことや、一回りごみ袋が小さくなり、減量効果を実感できたからと思われれます。

～お問い合わせ～ 三島市役所 生活環境課

〒411-0000 静岡県三島市字賀茂之洞4703-94 電話:055-971-8993 FAX:055-971-8994

資源ごみの集団回収 始めませんか？

三島市では、資源ごみ（古紙類、ビン、布など）を回収し、資源回収業者へ売り払っている団体（自治会、子ども会、市民団体など）に、回収量に応じた報奨金を交付しています。

また、今年度は報奨金の単価を見直し、

まだまだリサイクルが定着していない「ミックス古紙」と「廃食用油」を高い単価設定としました。

三島市のごみ排出量削減のため、資源ごみの集団回収にご協力をお願いします。

～報奨金交付の流れ～

1. 市役所に「資源ごみ回収団体届出書」を提出する
 2. 各団体が集めた資源ごみを資源回収業者に売り払う
 3. 市役所に「報奨金交付申請書」と回収した資源の量が確認できる伝票等を提出する
- ※申請に必要な様式は市のホームページからダウンロードするか、環境政策課（下記）までお問い合わせ下さい

～報奨金の単価～

- 新聞・雑誌・段ボール
紙製パック・ビン・布
⇒1kg当たり 2.5円
- ミックス古紙
⇒1kg当たり 20円
- 廃食用油(植物性の油)
⇒1リットル当たり 40円

資源ごみ集団回収の取り組み紹介



玉川子供会では…

子供会のメンバーが、町内放送をしたり、資源ごみの運搬をしたりと、積極的に手伝っています。皆で仲良く頑張った利益は、旅行などの子供会のイベントに活用しています。



栄町子供会では…

子供会のメンバーを中心に、資源ごみを集めています。活動の後は皆で遊んだり、大人同士が交流したりしています。得られた利益は、子供会の行事に使っています。



～お問い合わせ～

三島市役所 環境政策課 環境企画係
電話:055-983-2647 FAX:055-976-8728